

(様式4)

## 令和4年度 近畿ブロック 事業報告

### 1. 活動テーマ

「未来を創造する公衆衛生看護活動の展開」～保健師の原点から住民とともに創る未来～

### 2. 目的

地域住民の健康保持・増進のために組織的な保健師活動が展開できる人材を育成する。  
各支部の取り組み等の情報交換や研修を実施し、専門性の高い公衆衛生活動を推進する。

### 3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	令和4年 7月30日(土)	堺市役所 6階 堺市堺区南瓦町3-1	【第1回 理事・支部長会】11名参加 ・常任理事会等報告 ・年間計画、ブロック研修検討 ・各支部活動状況等情報交換
2	令和4年 10月22日(土)	堺市役所 6階	【第2回 理事・支部長会】10名参加 ・ブロック研修会について ・情報交換
3	令和4年 11月5日(土)	ハイブリッド方式 開催場所は堺市役所 (堺保健センター) 参加者はオンラインで 参加	【近畿ブロック研修会】209名参加 ハイブリッド方式で実施 ・全国保健師長会活動報告(西本副会長) ・講演会「コロナ禍を経てこれからの保健師の専門性発達と育成」 講師：京都大学大学院医学研究科 塩見美抄 准教授
4	令和5年2月	集合会議は中止	メールにて、情報交換、活動報告の共有をおこなった。

### 4. 結果・課題

#### 【理事会・支部長会】

R4年度の前半は、コロナ対応もあり、各自治体では大変な中での支部長会の開催であったため、リモート参加が多かったが、2回目の会議では、直接参加して下さった支部が4支部あり、リモートでの参加者も含めて、よい情報交換の場となった。支部長会では、近畿ブロックの研修会についての意見に加えて、日ごろの保健師活動やコロナ対応などについて、意見交換ができた。

#### 【研修会】

ハイブリッドで実施、昨年同等の参加者であった。保健師に求められるものが変容、また増大するなか、どの自治体においても保健師の活動のあり方や後輩の育成に時間をさけないもど

かしさを抱えながら仕事をしているなどの意見があり、講師や講義テーマを考えた。

講師には、保健師の専門性を再考し、専門性を高める組織とリーダーの役割などについて具体的な内容でご講義いただいた。

参加のみなさんからのアンケート（有効回答 136 名）から、振り返りや考え方の整理、次へのモチベーションにつながったと思えるコメントが多く、効果的な研修会だった。

## 5. 支部活動の特徴

6 府県 10 支部で構成

今年度は、理事・支部長会議を 2 回開催であったが、毎年 2~3 回開催している。

府県、政令市の枠を超えた活発な意見交換や情報交換の場となっている。そこで得た情報や意見を持ち帰り各々の自治体で役立てることができ、有意義な会議でありよい交流の場となっている。

## 6. 委員・支部長

	(氏名)	(所属)
○理事	東口 三容子	堺市健康部
理事	山下 久美	兵庫県保健医療部健康増進課
大阪府	山本 佳美	大阪府健康医療部健康医療総務課
兵庫県	山下 久美	兵庫県保健医療部健康増進課
京都府	勝山 久美子	京都府健康福祉部
和歌山県	藤川 容枝	和歌山県福祉保健部健康局医務課
奈良県	信野 左千子	奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課
滋賀県	佐谷 裕子	滋賀県湖東健康福祉事務所
大阪市	清水 美子	大阪市保健所
堺市	本吉 園子	堺市東保健センター
神戸市	山崎 初美	神戸市健康局
京都市	小田 知園	京都市保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課